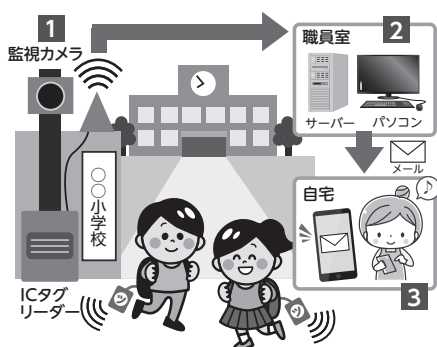




赤嶺 奈津江 議員

児童見守り安心システム「ツイタもん」の導入を

答 情報収集し検討する



ツイタ蒙の概要について
※イメージ

問 防犯カメラ設置工事費やICタグ代がかからず、導入できる。県内での導入事例もある。子供の安心安全のために導入できないか。

教育長 今後、導入している他の市町村からの情報収集等を行い、効果や課題を含め検討していく。

問 各学校で「じんじんメール」もあるが登録が少ない。「ツイタもん」は、有償のメール会員になることもできる。安全対策の中で必要だと思う。ぜひ取り組んほしいかどうか。

教育部長 どうすれば導入できるのか、どうすれば有効に活用できるのかも含め、検討したい。

子どもの貧困等対策事業を問う

問 事業実施当初の状況から変更されている事業はないか。

副町長 こども元氣ROOMの1カ所が平成30年4月から場所を字兼城から字照屋へと移し支援を行っている。それ以外はこれまでと同様である。

問 当初、各中学校区で1カ所ずつということだったが、一カ所が南風原中学校区から南星中学校区に移転した理由はなにか。

こども課長 南風原中学校区に設置していた居場所所は、支援の部屋がワンルームであったため、移転先を探し、物件が見つかり、支援の質の向上ということで移転した。

問 平日と週末金曜の夜から支援する場所が変わるが、同じところで常に支援できるような体制づくりができないか。

こども課長 これまで、中学校区ごとで2カ所、今は移転により南星中学校区に2カ所設置しているが、来年度に向けて、同じ場所での支援を検討をしている。

問 児童館の活用を早期に検討して行いたいと思うが、現在の状況として、児童館を午前中から開けて受け入れる体制は、いつ頃から行えるか。

こども課長 今、地域福祉推進計画を作っている。この計画は来年4月からになる。対応できる体制が整ったなら、活用に入りたい。また地域の団体などが活用して支援をしたいというものがあれば、町社協の補助事業なども使いながら開放していきたい。

こんな質問もしました

○2020年東京オリンピックに向けた取り組みについて
○発達障がい児支援について